

年次継続監視評価表(令和4年度)

1 基礎情報

対象施設	放課後児童クラブAブロック(公立15施設)
施設の設置目的	放課後等に保護者が就労等により常時留守となっている家庭の児童に対し、必要な保育を行い、児童の健全な育成を図る。
施設所管部署	こども未来部 保育課
指定管理者	株式会社 トライグループ
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
指定管理業務内容	(1)家庭生活及び社会生活に必要な生活習慣の育成 (2)児童クラブに入室した児童の保育に関する業務 (3)児童クラブの施設の維持管理に関する業務

2 施設利用状況の推移

	過去5年間の平均	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人数(件数)	585人	660人	650人	690人	711人	
対前年度比	-	75人	▲10人	40人	21人	

3 施設利用者の満足度(利用者アンケート結果) ※3ブロック全体結果

	回答者数	満足度			
		施設・設備管理	接客対応	おやつ	全体
上半期	901人	54.6%	71.6%	51.1%	72.9%
下半期	816人	61.5%	79.1%	57.3%	80.3%
利用者の主な意見・要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の支援員への感謝及び意見、要望 ・トライグループ事務局への意見、要望 ・施設の修繕・整備要望 				

4 主な自主事業実績

自主事業名	内容	参加者数等
トライ高等学院イベント	トライ高等学院の生徒による商売ゲーム及び伝言ゲームの実施	86人
バルーンアート制作	地域の団体を招きバルーンアート制作を実施	65人
紙粘土制作	地域の団体を招き紙粘土制作を実施	120人

5 主な修繕実績

(単位:円)

修繕箇所・修繕名等	内容	金額
畳(八木崎)	畳取替修繕	270,000
物置(立野)	物置移動修繕	68,200
蛍光灯(豊春)	蛍光灯取替	59,400

6 収支状況

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
収入額 A	168,909,567	173,531,605	171,870,761	183,183,223		697,495,156
内、指定管理料 a	157,593,567	162,322,106	160,889,261	166,806,723		647,611,657
内、利用料金収入	11,316,000	11,209,499	10,981,500	16,376,500		49,883,499
支出額 B	168,909,567	185,531,605	171,870,761	161,788,403		688,100,336
内、人件費	149,072,319	159,964,788	126,829,625	126,204,042		562,070,774
収支額 A-B	0	▲12,000,000	0	21,394,820		9,394,820
対前年度比	-	▲12,000,000	12,000,000	21,394,820		21,394,820
想定事業費 C	181,874,143	178,767,284	171,438,247	192,461,572		724,541,246
削減額 C-a	24,280,576	16,445,178	10,548,986	25,654,849		76,929,589

特記事項(増減額の説明等)

- ・令和2年度の収支額の減は、当初受け入れ児童の定員拡大による人件費等の増加を見込んだが、未執行となったことから指定管理料を減額したものです。
- ・令和3年度の「内、指定管理料 a」欄の金額には、指定管理料のほか、放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業補助金及び新型コロナウイルス感染対策事業費補助金を含みます。
- ・令和4年度の「内、指定管理料 a」欄の金額には、指定管理料のほか、放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業補助金、新型コロナウイルス感染対策事業費補助金、放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業費補助金及び放課後児童クラブ育成支援体制強化事業費補助金を含みます。

※「想定事業費」:市が直営で管理した場合に想定される事業費

7 四半期継続監視結果

区分	評価結果	特記事項(不適となった事項の有無、指導事項、改善状況 等)
第1四半期	A	・提出書類の提出が遅れるため期限内の提出を指導した。
第2四半期	A	・提出書類の提出が遅れるため期限内の提出を指導した。 ・おやつ提供に不備があったクラブにより一層の確認をするよう指導した。
第3四半期	A	・提出書類の提出が遅れるため期限内の提出を指導した。 ・支援員が研修へ出席できるよう指導した。
第4四半期	A	・提出書類の提出が遅れるため期限内の提出を指導した。 ・備品台帳の作成及び適切な備品の管理を指導した。

※評価結果の凡例

- A：適切な指定管理業務が実施されている。
- B：適切な指定管理業務が実施されておらず、さらなる努力を要する。
- C：全体的に適切な指定管理業務が実施されておらず、取り組みを見直し。

8 年間を通じた個別事項の評価

No.	評価項目	主な内容	適
1	住民の平等な利用が確保されているか。	施設の目的及び市が示した管理の方針と合致した内容となっているか。 児童の保護及び遊びを通しての育成指導に適した内容となっているか。	○ ○
2	施設の効用を最大限に発揮させているか。	サービス向上のための適切な方策が実施されているか。 小学校との適切な連携が行われているか。 保護者との協力体制は適切か。 おやつに関する業務についての運営は適切か。	○ ○ ○ ○
3	施設の適切な管理運営が計画的に実施されているか。	事業計画書で提案された内容が適切に実施されているか。 書類等文書の作成・管理・保存は適正に行われているか。 施設の安全・衛生管理、危機管理、災害時等緊急時の対応は適切か。 適切な計画の下、効果的な修繕・保守点検が実施されているか。	○ × ○ ○
4	管理に係る経費の縮減が図られているか。	事業収支は事業計画書による計画と乖離していないか。 サービス水準を確保した効果的な経費縮減に取り組んでいるか。 会計処理業務が適切に行われているか。	○ ○ ○
5	安定的な運営体制が確保されているか。	職員体制は十分か。 職員採用、確保の方策は適切か。 職員の育成指導、研修体制は十分か。 適正な雇用・労働条件が確保されているか。	× ○ × ○
6	その他	個人情報に関する情報の管理体制は十分か。 市との適正な信頼関係や協定書等に基づく協力関係が築けているか。	○ ○
適(○)の数		16/19	

特記事項(指定管理者への指示事項等)

・職員体制については、一部のクラブで支援員の配置または常勤としての勤務時間が不足しており、適宜補助員等を配置しているため、保育の水準は概ね保たれていましたが、適正な配置となるよう指示しています。
・月次・四半期報告の提出書類について、主に入室児童出席状況表や支援員の配置実績表等の提出が遅れているため、期限内に速やかに提出するよう指示しています。
・支援員対応に苦慮されている様子ですが、特別支援児童への対応研修及び県主催の研修への積極的な参加がありません。各クラブでの工夫及び事業者による労働条件の融通等をし、支援員が研修へ出席できるよう指示しています。

9 総合評価

住民サービスの向上や経費の節減について

新型コロナウイルス感染症防止の対応を徹底しつつ、オンラインイベントやバルーンアート、紙粘土制作等のイベントを積極的に実施するなど住民サービスの向上に努めていました。

指導に対する対応・改善状況について

一部クラブにおいて、支援員の配置又は常勤としての勤務時間の不足がありましたが、補助員等の配置により、保育の水準は概ね保たれていました。新型コロナウイルス感染症への対応が迫られる中、各クラブの状況を踏まえながら人事異動や事務局職員の応援などを図り、安心・安全な保育を実施しました。

その他(上記以外の制度導入による効果、業務状況、課題、今後の方向性等)

コロナウイルス感染症が収束しつつある中、運営環境の変化及びクラブ職員における働き方改革の必要性など、社会情勢の変化に対する柔軟な対応を図るため、今後も放課後児童クラブの安定的な運営とさらなる質の向上を目指します。

令和4年度の評価結果	A
------------	---